

(案)

「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」事業評価実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下、「博物館」という。)が策定した「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」の事業評価の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」の実施にあたり、使命や事業目標達成に向けて、計画が適切に進められているか評価、検証等を実施する目的として事業評価を実施する。

(事業評価方法)

第3条 事業評価の方法については、1次評価として内部評価を実施し、2次評価として外部評価を行うこととする。

(内部評価方法)

第4条 (1) 内部評価については、博物館が行う。

(2) 「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」から指標の目標値を定め、目標に対する成果と課題を明らかにし、評価コメントを記載する。

(外部評価方法)

第5条 (1) 外部評価については、松戸市立博物館協議会が行う。

(2) 内部評価の結果の報告を受け、専門的な見識から評価を行う。

(評価結果の公表)

第6条 外部評価後、事業評価報告書を作成し速やかに公表する。

(庶務)

第7条 庶務は、文化財保存活用課博物館において処理する。

(その他)

第8条 その他評価の実施に関し必要な事項は、博物館館長が定める。

附 則

この要綱は、令和7年 月 日から施行し、令和16年3月31日をもって廃止する。

計画体系図

3つの使命	5つの事業目標	方針	具体的な取組
◎松戸市立博物館は、松戸の3万年の歴史と文化を研究し、その「知」の集積をもとに未来を展望するために誰もが活用できる歴史博物館をめざします。 ◎多くの市民が松戸の歴史と文化を楽しみながら価値を発見し、「ふるさと松戸」に対する愛着と誇りを育むことができる地域博物館をめざします。 ◎未来を担うこどもたちを育み、多くの人々をつなぎ、協力を推進し、「ひとづくり」に貢献できる文化交流の場をめざします。	事業目標1 松戸ブランド の価値創出	(1)所蔵文化財の価値の発信	① 進化していく展示 ② 調査・研究対象の整理と作業の効率化 ③ 館蔵資料の履歴作成と合理的な活用
		(2)ICTによる文化財情報の整理・発信	① ICTを活用した迅速・広範な情報発信 ② 工夫を凝らしたアイテムの充実
	事業目標2 広域的な文化交流 拠点の形成	(1)千駄堀地区文化交流拠点としての位置付け	① 1日中楽しめる空間創出 ② 市内外からの集客
		(2)観光拠点としての位置付け	① 文化財へのアクセシビリティ強化 ② まつどの歴史・文化の観光ルート ③ 松戸市戸定歴史館との連携
		(3)県西部の中核館としての位置付け	① 歴史・文化の拠点 ② つなぐ博物館
	事業目標3 新しいファン層 の獲得	(1)子育て世代の博物館の利用支援	① 家族で楽しめるプログラム ② 楽しみながら学ぶ松戸の歴史
		(2)地域とつながる、市内地域の歴史的文化の発信	① 様々な団体への支援・協力 ② 地域活動団体などとの連携
		(3)学校教育施設などとの連携強化	① 各地域の歴史や文化を活かした小中学校との連携 ② 児童学部との連携 ③ 市内高校・大学との連携
	事業目標4 新たな展示空間 の創設	(1)こどもミュージアムの整備	① 5つの柱に基づいたこどもミュージアムの整備 ② 4つの展示部門での構成
		(2)新しい発見や学びのための可変的な展示	① 可変性のある展示空間 ② 調査・研究成果をスピーディに公開する展示空間
		(3)ニーズに対応した展示空間	① 松戸市立博物館でしか味わえない展示空間
	事業目標5 施設の長寿命化	(1)インクルーシブデザインの導入	① 快適に過ごせる施設の整備
		(2)施設の老朽化対策の推進	① 老朽化施設の改修 ② 館蔵資料の適切な管理
		(3)アクセスの改善	① 駐車場の効率的な活用 ② スムーズなアクセス



1 事業評価の意義

① 組織的・継続的に改善する体制づくり

事業評価を行うことにより、評価結果を事業に反映し、翌年度予算編成や事業計画に反映させる「計画(Plan)―実行(Do)―評価検証(Check)―改善(Action)」のPDCAマネジメントサイクルを機能させ、継続的な業務改善・サービスの向上を図る。

② 松戸市民に対する説明責任

評価結果を公表することにより、成果と課題を明らかにし、市民に対して、公の施設としての社会的説明責任を果たし、公的事業の透明性を図る。

③ 課題や成果の共有

外部評価を実施することにより、外部とのコミュニケーションや情報の共有を重視しつつ、職員自身の学習効果と組織強化につながるしくみを展開する。

2 事業評価の進め方

事業評価は、単年度と中期（3年、3年、4年）、長期（10年）でそれぞれで進捗状況や目標の達成度を評価し経年変化で検証する。

評価指標ならびに評価の実施方針は、初年度の令和5年（2023年）に活動を行いながら検討し令和6（2024）年度事業を令和7年（2025）年度に試行的にとりまとめ、松戸市立博物館が内部評価（1次評価）を行った後、松戸市立博物館協議会による外部評価（2次評価）を行い、その結果を事業評価報告書として公開する。

3 事業評価の実施内容

内部評価と外部評価は、下表で実施する。

評価の種別	評価実施者	実施方法
内部評価 1次評価	松戸市立博物館	「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」から指標の目標値を定め、目標に対する成果と課題を明らかにし、評価コメントを記載する。
外部評価 2次評価	松戸市立博物館協議会	博物館協議会の場で行う。内部評価の結果の報告を受けた後、専門的な見識から評価を行う。

4 事業評価スケジュール

松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画期間（R5～R14／2023～2032）										
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
運営状況	開館 (リニューアル工事前)			休館 (リニューアル工事中)			開館 (リニューアルオープン後)			
	準備期間	試行								
	第1次・3カ年			第2次・3カ年			第3次・4カ年			
評価	単年度									
	中期									
指標の見直し	長期									

5 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価の枠組み

① 事業評価の概要

松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画体系図「具体的な取組」から指標の目標値を定め、目標に対する成果と課題を明らかにし、評価コメントを記載する。

② 評価の対象

「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」に基づく指標を定め、達成状況を検証・評価する。

③ 評価の時期

毎年度初めに、前年度の取組内容や進捗状況などをとりまとめ、松戸市立博物館が内部評価（1次評価）を行った後、松戸市立博物館協議会による外部評価（2次評価）を行い、その結果を事業評価報告書として秋頃公開する。

事業評価スケジュール ～令和8年5月（案）

